



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場会社名 リンナイ株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 5947 URL <http://www.rinnai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内藤 弘康

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 小杉 将夫

TEL 052-361-8211

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	114,274	2.6	11,516	3.7	12,377	4.8	6,575	△6.3
23年3月期第2四半期	111,359	9.1	11,109	65.8	11,806	68.4	7,015	73.5

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 8,127百万円 (68.2%) 23年3月期第2四半期 4,830百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	134.03	—
23年3月期第2四半期	139.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	228,006	148,018	63.2
23年3月期	221,495	141,110	62.0

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 144,013百万円 23年3月期 137,274百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	24.00	—	24.00	48.00
24年3月期	—	28.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	248,000	3.6	27,000	7.0	28,000	4.4	17,500	12.8	356.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	54,216,463 株	23年3月期	54,216,463 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	5,156,633 株	23年3月期	5,156,123 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	49,060,137 株	23年3月期2Q	50,412,241 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
4. 補足説明資料 連結決算の概要 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における経済状況は、海外において欧州の金融市場が不安定であることに加え、米国の経済回復が思うように進まず、世界経済は景気減速の懸念を払拭できない状況が続いております。一方、国内では福島原発事故による電力不足問題が深刻化し景気後退の懸念があったものの、個人消費や企業の設備投資は持ち直しの傾向にあるなど明るい兆しも見えてまいりました。

住宅設備業界では、震災の復興需要が本格的に始まったことに加え、首都圏をはじめとしたマンション販売が好調なことなどを背景に新設住宅着工戸数は緩やかに回復しつつあり、市場は徐々に上向いてきております。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画「改革と躍進」の最終年度に入り、環境・省エネの時流を背景に総合熱エネルギー機器メーカーとしてのグローバルな飛躍を目指し、世界各国の生活文化・気候条件・エネルギー事情を考慮することにより、国や地域ごとに最適な熱機器を提供してまいりました。

販売面につきましては、海外では新興国のインフラ拡大や先進国の堅調な買替需要により長期的に成長路線は継続しているものの、引き続き円高の影響により売上が減少いたしました。一方、国内においては、厨房機器では震災以降の節約志向の流れを受け安価商品へ需要がシフトしましたが、給湯機器では高い環境性能を持つガス給湯器「エコジョーズ」シリーズの販売が増加したことに加え、空調機器は電力不足を背景とした節電・省エネの時流に乗り需要が大きく増えるなど、売上は増加しました。

損益面につきましては、国内の増収効果に加え、給湯機器の高付加価値商品である「エコジョーズ」シリーズに切替えが進んだことや重点商品のコスト造り込みによる原価低減の効果により増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,142億74百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益115億16百万円（前年同期比3.7%増）、経常利益123億77百万円（前年同期比4.8%増）、四半期純利益におきましては投資有価証券評価損を計上したことにより、65億75百万円（前年同期比6.3%減）となりました。

セグメントの業績の概況は次のとおりであります。

<日本>

厨房機器においては、震災以降の消費者の節約志向が安価商品の需要増へとつながり売上に影響を与えましたが、給湯機器においては、ガス機器業界全体で切替えを進めている高効率給湯器「エコジョーズ」シリーズが好調で、空調機器では節電志向の追い風を受けたガスストーブ・ファンヒーターの需要が増加し、日本の売上高は778億32百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益は78億22百万円（前年同期比8.6%増）となりました。

<韓国>

給湯機器においては、ボイラー販売が年初の寒波の影響に加え、市場の買替需要増により好調に推移しておりますが、厨房機器においては市場競争が厳しく、コンロの販売がやや前年を下回る結果となり、韓国の売上高は105億13百万円（前年同期比4.7%減）、営業利益は4億38百万円（前年同期比13.2%減）となりました。

<アメリカ>

給湯機器においては、省エネ性能の高いコンデensing給湯器が伸長し、空調機器では各州の省エネ政策推進を背景としたFF暖房機の販売が堅調であるものの、主力商品となるタンクレス給湯器は従来のタンク式給湯器よりも高価であるため景気減速の影響を受けやすく、販売は減少いたしました。アメリカの売上高は58億1百万円（前年同期比16.3%減）、営業利益は2億33百万円（前年同期比62.1%減）となりました。

<オーストラリア>

政府の環境政策の一環として、2012年までに販売禁止となる電熱貯湯式給湯器からガスタンクレス給湯器への切替えが進んでおり、また開放型暖房からの買替促進政策となるFF暖房機の補助金制度が今年度も継続し、主力商品が全般的に増加いたしました。オーストラリアの売上高は91億63百万円（前年同期比11.6%増）、営業利益は23億54百万円（前年同期比45.9%増）となりました。

<中国>

都市部では不動産投資規制により住宅設備需要が鈍化し湯沸器販売が苦戦しているものの、地方のガスインフラ拡大に伴ってコンロやボイラーなどの現地販売は堅調な成長を続けております。しかし、為替の影響を受け、中国の売上高は53億30百万円（前年同期比4.8%減）となり、また、原材料費の高騰やインフレなどにより営業利益は1億66百万円（前年同期比50.8%減）となりました。

## (参考1) 機器別売上高の内訳

機器別	前第2四半期累計期間 (平成22年4月1日～9月30日)		当第2四半期累計期間 (平成23年4月1日～9月30日)		増 減		(参考) 前 期 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
厨房機器	37,832	34.0	36,258	31.7	△1,574	△4.2	79,600	33.2
給湯機器	51,844	46.6	54,721	47.9	2,877	5.5	114,534	47.8
空調機器	7,297	6.6	8,486	7.4	1,188	16.3	15,754	6.6
業用機器	3,274	2.9	3,444	3.0	169	5.2	6,739	2.8
その他	11,109	10.0	11,364	9.9	254	2.3	22,806	9.5
合 計	111,359	100.0	114,274	100.0	2,915	2.6	239,436	100.0

## (参考2) 海外売上高

	前第2四半期累計期間 (平成22年4月1日～9月30日)			当第2四半期累計期間 (平成23年4月1日～9月30日)		
	アジア	その他の地域	計	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高 (百万円)	21,931	18,493	40,425	21,442	18,250	39,693
II 連結売上高 (百万円)	—	—	111,359	—	—	114,274
III 海外売上高の連結売上高に占める割合 (%)	19.7	16.6	36.3	18.8	16.0	34.7

(注) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産は、前期末に比べ65億11百万円増加し2,280億6百万円となりました。また、負債は3億96百万円減少し799億88百万円となり、純資産は69億7百万円増加し1,480億18百万円となりました。これらの結果、自己資本比率は63.2%となりました。

キャッシュ・フローの状況については次のとおりであります。

当第2四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前期末に比べて65億65百万円減少し395億79百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

たな卸資産の増加や法人税等の支払による資金の減少があった一方で、主に営業利益が確保できた事により、営業活動によって得られた資金は52億19百万円(前年同期比28.1%減)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

主に定期預金の預入や有形固定資産の取得による支出により、投資活動の結果支出した資金は107億63百万円(前年同期比161.6%増)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

主に配当金の支払により、財務活動の結果支出した資金は12億83百万円(前年同期比90.6%減)となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年5月11日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,338	30,599
受取手形及び売掛金	53,155	52,136
有価証券	28,663	25,455
商品及び製品	11,545	17,009
原材料及び貯蔵品	9,478	9,955
その他	5,413	5,896
貸倒引当金	△449	△583
流動資産合計	136,145	140,469
固定資産		
有形固定資産	41,997	42,780
無形固定資産	1,581	1,548
投資その他の資産		
投資有価証券	29,604	31,129
その他	12,603	12,514
貸倒引当金	△437	△435
投資その他の資産合計	41,771	43,208
固定資産合計	85,350	87,537
資産合計	221,495	228,006

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,781	41,818
短期借入金	6,277	6,635
未払法人税等	5,034	3,659
賞与引当金	2,765	2,883
その他の引当金	2,926	1,906
その他	12,515	12,222
流動負債合計	70,301	69,125
固定負債		
長期借入金	2,763	2,729
退職給付引当金	4,547	4,928
その他の引当金	53	57
その他	2,718	3,147
固定負債合計	10,083	10,862
負債合計	80,384	79,988
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,459	6,459
資本剰余金	8,719	8,720
利益剰余金	147,757	153,155
自己株式	△23,465	△23,468
株主資本合計	139,471	144,866
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△394	72
為替換算調整勘定	△1,803	△925
その他の包括利益累計額合計	△2,197	△853
少数株主持分	3,836	4,004
純資産合計	141,110	148,018
負債純資産合計	221,495	228,006

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	111,359	114,274
売上原価	76,213	79,042
売上総利益	35,145	35,232
販売費及び一般管理費	24,036	23,716
営業利益	11,109	11,516
営業外収益		
受取利息	335	466
持分法による投資利益	416	454
その他	458	443
営業外収益合計	1,209	1,365
営業外費用		
支払利息	170	141
為替差損	297	299
その他	45	62
営業外費用合計	513	504
経常利益	11,806	12,377
特別利益		
投資有価証券売却益	46	—
特別利益合計	46	—
特別損失		
投資有価証券評価損	66	1,212
点検費用等	475	—
点検費用等引当金繰入額	134	—
その他	190	—
特別損失合計	867	1,212
税金等調整前四半期純利益	10,984	11,165
法人税、住民税及び事業税	3,398	3,880
法人税等調整額	283	517
法人税等合計	3,682	4,397
少数株主損益調整前四半期純利益	7,302	6,767
少数株主利益	287	192
四半期純利益	7,015	6,575

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,302	6,767
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△617	466
為替換算調整勘定	△1,851	831
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	62
その他の包括利益合計	△2,471	1,360
四半期包括利益	4,830	8,127
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,682	7,919
少数株主に係る四半期包括利益	148	208

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	10,984	11,165
減価償却費	3,608	3,466
投資有価証券評価損益 (△は益)	66	1,212
売上債権の増減額 (△は増加)	1,748	1,360
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,664	△5,745
仕入債務の増減額 (△は減少)	△914	866
その他	736	△2,302
小計	12,565	10,023
利息及び配当金の受取額	591	610
利息の支払額	△180	△149
法人税等の支払額	△5,719	△5,265
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,256	5,219
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,373	△11,731
定期預金の払戻による収入	3,496	4,014
有形固定資産の取得による支出	△4,745	△3,671
投資有価証券の取得による支出	△640	△4,021
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,846	5,401
その他	△697	△754
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,113	△10,763
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△13,072	△3
配当金の支払額	△1,138	△1,176
その他	566	△103
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,644	△1,283
現金及び現金同等物に係る換算差額	△905	262
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△11,407	△6,565
現金及び現金同等物の期首残高	46,570	46,145
現金及び現金同等物の四半期末残高	35,163	39,579

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	韓国	アメリカ	オースト ラリア	中国			
売上高								
外部顧客への売上高	74,067	11,033	6,934	8,209	5,597	5,517	—	111,359
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,828	107	43	2	614	745	△10,342	—
計	82,895	11,141	6,978	8,211	6,211	6,263	△10,342	111,359
セグメント利益	7,205	505	615	1,613	338	763	67	11,109

(注) 1. その他には、台湾、タイ、ベトナム、ニュージーランド、ブラジル等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	韓国	アメリカ	オースト ラリア	中国			
売上高								
外部顧客への売上高	77,832	10,513	5,801	9,163	5,330	5,633	—	114,274
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,052	191	—	0	652	1,016	△10,913	—
計	86,885	10,704	5,801	9,163	5,983	6,650	△10,913	114,274
セグメント利益	7,822	438	233	2,354	166	683	△182	11,516

(注) 1. その他には、台湾、タイ、ベトナム、ニュージーランド、ブラジル等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足説明資料

## 平成24年3月期 第2四半期 連結決算の概要

連結状況 当社と子会社25社を連結しております。また、関連会社1社について持分法を適用しております。

## (1). 第2四半期累計期間の業績等

## 1. 業績

(単位:百万円)

	当第2四半期累計			前第2四半期累計	
	実績	(売上比)	(前期比)	実績	(売上比)
売上高	114,274	100.0	2.6	111,359	100.0
営業利益	11,516	10.1	3.7	11,109	10.0
経常利益	12,377	10.8	4.8	11,806	10.6
四半期純利益	6,575	5.8	-6.3	7,015	6.3

## 2. 機器別売上

(単位:百万円)

	当第2四半期累計			前第2四半期累計	
	実績	(構成比)	(前期比)	実績	(構成比)
厨房機器	36,258	31.7	-4.2	37,832	34.0
給湯機器	54,721	47.9	5.5	51,844	46.6
空調機器	8,486	7.4	16.3	7,297	6.6
業用機器	3,444	3.0	5.2	3,274	2.9
その他	11,364	9.9	2.3	11,109	10.0
合計	114,274	100.0	2.6	111,359	100.0

## 3. 設備投資額・減価償却費及び研究開発費 (単位:百万円)

	当第2四半期累計 実績	前第2四半期累計 実績
設備投資額	3,569	3,789
減価償却費	3,466	3,608
研究開発費	3,839	3,442

\* 「(前期比)」は、対前年同四半期増減率(%)を示しております。

\* 「当第2四半期累計」平成23年4月1日～9月30日  
「前第2四半期累計」平成22年4月1日～9月30日

## (2). 業績等の推移と通期予想

## 1. 業績の推移

(単位:百万円)

	24年3月期		23年3月期		22年3月期		21年3月期		20年3月期	
	予想	(売上比)	実績	(売上比)	実績	(売上比)	実績	(売上比)	実績	(売上比)
売上高	248,000	100.0	239,436	100.0	226,117	100.0	236,741	100.0	248,761	100.0
営業利益	27,000	10.9	25,238	10.5	20,392	9.0	15,069	6.4	15,124	6.1
経常利益	28,000	11.3	26,824	11.2	21,481	9.5	12,958	5.5	15,398	6.2
当期純利益	17,500	7.1	15,510	6.5	11,642	5.1	3,847	1.6	8,269	3.3

## 2. 機器別の売上高と構成比

(単位:百万円)

	24年3月期		23年3月期		22年3月期		21年3月期		20年3月期	
	予想	(構成比)	実績	(構成比)	実績	(構成比)	実績	(構成比)	実績	(構成比)
厨房機器	82,000	33.1	79,600	33.2	78,669	34.8	81,166	34.3	78,573	31.6
給湯機器	120,000	48.4	114,534	47.8	105,906	46.8	106,567	45.0	111,625	44.9
空調機器	16,000	6.5	15,754	6.6	14,635	6.5	17,309	7.3	21,689	8.7
業用機器	6,500	2.6	6,739	2.8	6,268	2.8	6,226	2.6	7,729	3.1
その他	23,500	9.5	22,806	9.5	20,636	9.1	25,470	10.8	29,144	11.7
合計	248,000	100.0	239,436	100.0	226,117	100.0	236,741	100.0	248,761	100.0

## 3. 設備投資額・減価償却費及び研究開発費

(単位:百万円)

	24年3月期 予想	23年3月期 実績	22年3月期 実績	21年3月期 実績	20年3月期 実績
設備投資額	8,432	7,590	9,380	11,313	8,992
減価償却費	7,981	7,997	8,634	9,179	8,354
研究開発費	7,055	6,934	6,764	6,944	7,131

\* 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。